設立趣旨書

ドローンの現状として、全てではないですがホビー（趣味）からスタートした大人がホビージネスに夢中、又は、他人の迷惑を顧みず飛行（落下事故も）・空撮（盗撮も）を繰り返す等、法規制ではなく本来あるべきルール（礼儀・信義・秩序）を忘れ、我を通すさまは報道などによりドローンを愛するものとして憂い悲しむ出来事です。

ドローンは、トイ（玩具）として青少年・児童生徒達に広く扱われるべきものと考えます。何故なら「価格帯・操縦難易・大きさ・重量・安全性」等々でも判明する通りでございます。

更に、ドローン操縦は、「指」と「脳」を使う事で『脳活運動（瞬時に判断）』に最適。社会人会員には「身体障害者」「年長者（後期）」の参加も推進、テレビゲーム等で眼鏡疲労を患っている児童生徒にも興味を抱かせ、健全で将来の職業としても最適、ゲーム感覚で覚えるドローン操縦、今後は高く評価され、競技人口の需要が増大する事と思われます。

しかしながら、現況はルール無視が横行する中で法規制がどんどん厳しくなり、益々トイとしての価値観が阻害されながら、全国津々浦々（他県の大きな高原以外）まで飛行禁止エリアが拡大しつつあります。

私達はこの状況を打破する施策として、秩序正しいルール・遊び場提供・競技大会等を柱とした「スポーツ振興策」と捉えて活動することが、青少年・児童生徒達の健全育成に広く貢献できると考え、ここに「津南ドローン協議会」創設するものであります。

平成 28 年 2 月 25 日

津南ドローン協議会
設立総会出席者一同